

保護者様

加古川市立平岡北小学校
校長 長谷川 敬志

非常時（警報発表時）の児童の登下校について

1 警報（暴風、暴風雪、大雪、**レベル3大雨**、**レベル3氾濫**）が発表されている場合

- (1) 午前7時の時点で、「加古川市」に警報が発表されている場合、臨時休業となります。
（学校から連絡はしません。解除後も登校しません。）

※警報・注意報にはレベルが付記されます（別紙についてはスクリレ参照）

- (2) 始業時以降に警報が発表された場合、下校や学校待機等については状況を見て判断し、スクリレでお知らせします。

2 地震（震度5弱以上）が発生した場合

- (1) 登校前に「加古川市」で発生した場合は、臨時休業とします。
(2) 登校中に発生した場合、原則として登校しますが、状況に応じて適切に対応します。
(3) 下校中に発生した場合、教職員が児童の安全確認を行います。
(4) 始業時刻以降に発生した場合、保護者と連携をとりながら、安全状況を確認のうえ対応します。

3 気象防災速報（竜巻注意情報/竜巻目撃、線状降水帯発生・記録的短時間大雨）が発表されている場合

- (1) 午前7時の時点で「兵庫県」に発表されている場合は、自宅待機として、解除されてから登校してください。
※ 竜巻注意情報は、発表後有効時間は1時間です。いずれの速報も「解除」の発表は出されないため注意が必要です。
(2) 登校中に発表された場合、原則として登校しますが、状況により適切に対応します。
(3) 始業時刻～下校時刻までに発表された場合、解除されるまで校舎内で待機させます。
(4) 下校中に発表された場合、教職員が児童の安全確認を行います。

4 Jアラート等を通じて緊急情報が発信された場合

- (1) 登校前に「兵庫県」に発表された場合、自宅待機とします。
(2) 登下校中に兵庫県に発表された場合、自宅が学校、近い場所に避難します。

5 その他の警報発表及び危険が予測される場合

- (1) 津波、レベル3高潮、波浪、レベル3土砂災害警報が発表された場合は、状況を見て判断し、スクリレでお知らせします。
(2) 浸水等の危険がある場合、危険箇所について学校に連絡ください。安全面に配慮し、通学路変更や待機等の必要な措置を行います。
(3) 登下校中に雷が発生している場合、児童・保護者の判断により、安全な場所に避難してください。雷が遠ざかったのを確認してから登校してください。
(4) 大雪の場合、児童及び保護者の判断により危険だと感じた場合は自宅待機とし、道路状況の安全が確認されてから登校してください。
(5) 市内において災害が予想される場合は、市教育委員会の判断により警報発令の有無にかかわらず学校を臨時休業とする場合があります。
(6) 熱中症特別警戒アラートが発表（午後2時頃）された場合、翌日は臨時休業となります。
※熱中症特別警戒アラートとは、過去に例のない広域的な危険な暑さ等により、熱中症救急搬送者数が急増するなど、医療の提供に支障が生じるようなおそれがある場合に発表されるものです。
(7) 暑さ指数情報提供地点の明石、または姫路にWBGT（暑さ指数）35以上の予測が発表（午後5時頃）された場合、翌日は臨時休業となります。
(8) 熱中症が危惧される場合は、WBGT（暑さ指数）が31以上で、原則、運動を禁止します。

※始業時以降の警報発表や非常時の際は、上記の通りですが、児童の安全を第一に考えて対応いたします。

下校や学校待機、引き渡し等の判断は、状況を見て決定します。スクリレにてお知らせしますので、登録をお願いいたします。また、ご家庭でも児童の出迎えや見守り等のご協力をお願いいたします

令和8年より 気象の警報などが 大きく変わります

防災気象情報 いつ逃げる？ レベルで 判断！

避難の判断がよりしやすい

情報名称などが大きく変わるため、
防災計画等の点検や見直しをお願いします。

【一覧表】

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

警報・注意報の情報名に「レベル」が 付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】

(旧)「大雨警報」

→ (新)「レベル3大雨警報」

警戒レベル3（高齢者等避難）に相当

「警戒レベル4相当」の情報は 「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】

(旧)「土砂災害警戒情報」

→ (新)「レベル4土砂災害危険警報」

河川の氾濫の危険度の伝え方が 変わります（特別警報の新設など）

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。

今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】

(旧)「洪水警報」

→【洪水予報河川※】

(新)「レベル3氾濫警報」

→【洪水予報河川以外の河川】(新)「レベル3大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル5氾濫特別警報」が新設されます。

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川

線状降水帯の発生などは 「気象防災速報」として発表します

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

【変更例】

(旧)「顕著な大雨に関する気象情報」

→ (新)「気象防災速報（線状降水帯発生）」

(旧)「記録的短時間大雨情報」

→ (新)「気象防災速報（記録的短時間大雨）」



避難のタイミングは レベルで判断

災害が起きる前に何をすべきか、
レベルごとにチェック！



時間推移のイメージ

数日～
1日前

レベル1 早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

半日～
数時間前

レベル2 注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

数時間～
3時間前

レベル3 警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難

2時間～
0時間前

レベル4 危険警報

- ・**危険な場所から全員避難する**
※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

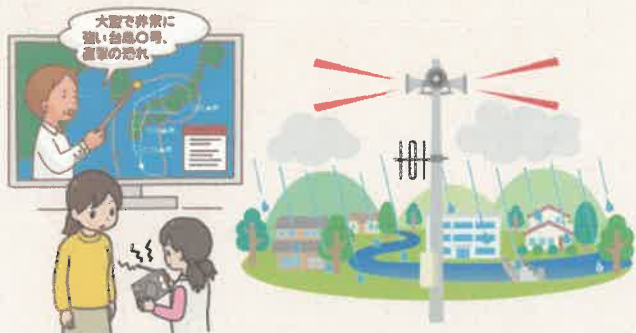
災害
発生

レベル5 特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

災害の情報、 どう受け取る？

警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。



このあとどうなる？ をチェックしよう

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。



キキクル

▼キキクル画面イメージ 10分ごとに更新される



▼時系列情報（明日までの警報等の見通し）

項目	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
大雨による危険度																								
暴風による危険度																								
土砂災害による危険度																								
高潮による危険度																								
波浪による危険度																								
大雪による危険度																								
低温による危険度																								
霜による危険度																								
凍結による危険度																								
大雪による危険度																								
低温による危険度																								
霜による危険度																								
凍結による危険度																								